

(一) 縮法、章法、句法、
 (二) 潮州韓文公碑(蘇東坡)
 第三章 作例及び熟語
 第一節 國文漢文兩體五篇十篇
 越谷親訥(野田首浦) 自來亭記(坂井虎山) 原
 田龜太郎遺像記(森田節齋) 靜古館記(林龜梁) 原
 原廣嗣論(松士權)

第二章 國文五篇
 青砥左衛門藤綱(太平記) 那須與市事(平家物語)
 觀世太夫の語 猿蟹合戦
 豐臣太閤花房助兵衛罵詈の言を告めざる事(古老雜
 話) (以上和文)

第三章 漢文五篇
 青砥左衛門藤綱(前篇) 全(中井誠徳) 全(服部元
 喬) 全(青山延子) 那須與市事(柴野栗山) 全
 觀世太夫事(倍夫恕軒) 猿蟹合戦(中井履軒) 錄
 太閤征事(大槻啓溪)

第四章 韻文一篇
 孝女白菊の歌(落合直文) 孝女白菊詩(井上哲次郎)

博士イーストローキ著
 英和會話 獨修 全一冊

紙數三百三十二頁 郵稅四錢
 本邦にて數年教授せられたる、ある博士イーストローキ
 師の著述なれば其完全無缺にして、且も實用に適し、獨修の
 字、清漢重要な語、和漢の世語、格言、及俗語、其
 會話上の用語は、概して遠洩する所なし、全國至る所の
 書肆にて高覽を乞ふ。

商船學校英語專任教授
 北米合衆國公使館翻譯官小見忠雄著
 高等實用新會話

正價廿五錢 郵稅四錢

美澤進序富田源太郎著
 立志功商 業百話 全一冊

正價三十錢 郵稅六錢

立志成功商業百話一編、立志談としては金儲け金蓄め百ヶ
 條を掲げ、先づ金儲けの秘訣には「山事によりて得たる金
 は山事によりて失ふべし」と注意し、「大事を爲すものは小
 事に於ける成効を積むものなり」と説き、此精神を以て商
 法の驅引、實際の得失、妻子、丁稚、下女、下男の拭き掃
 除、掃き掃除に論及し、金蓄めの心得には破産は産所の一
 隅より起る「金儲け女房は假りに人に貸す勿れ」然れど
 も「貨幣をして弗置の底に腐れしむる勿れ」と告げ、夫れよ
 り話頭一轉「日本の富を如何」と喝破し、日本前途、商人を
 論じ、商人の責任、商人の信用、商人の學問、泰西商人の
 致富策を説き、成功談として「カードの富豪論、ロスチヤ
 イルドの首行、ブラツセーの致富策、アルストの立身、ハ
 ーバーの成業、紐育の商王ステウアートの大安賣、觀物師
 より出世したるバルナムの成業十則を掲げ、行文平易、義
 理明快、全文張り假名付、實業家にも學生にも趣味あり、
 利益ある近代の讀物なり。

山田武城作曲
 音樂獨習全書 全部十冊

壹冊止價金卅錢宛 郵稅四錢宛

世の中に樂しみとすべきもの擧げて數ふるに遠ありざれど
 就中高尙にして其趣味も亦極めて多きは音樂を除きて他に
 求むるなしされど其樂器には數十種ありて價に高此あれば
 從ひて世の一般に適するものと適せざるものとあり茲に這
 回發梓せる音樂全書左記數種は其樂器の音色取も高尙優美
 にして且價の廉なるものを撰びこれが樂曲は斯道に堪能な
 る樂士に囑し編纂したるもの而かも書中収むるものも
 のは古今の別なく之を採り興味尤も津々一度之れを奏すれ
 ば勇夫も垂涎し怯夫も亦蹶超せんといはれ本書の世間同好
 の書籍に秀づる趣幸に同好の諸士一本を購ふありて其味を
 判じ給はば弊舖の光榮之に過ぎず發兌に臨み本書の特色を
 さて爾云

- 目書刊既
- 吹風琴獨習 全一冊
 - 手風琴獨習 全一冊
 - ハ一モニカ獨習 全一冊
 - 尺八獨習 全一冊
 - 唱歌及軍歌 全一冊
 - 銀笛獨習 全一冊

法典研究會編纂
 六法講義 全一冊

洋綴背皮金文字入紙數二千頁
 正價二圓五十錢目方四百分

近來我國の法文漸く整頓したりと雖ども元來其明文は該博
 なる意を含蓄したるを一句一章に言ひ表はしたるを以て
 其正條を氷釋するは世の一般の能はざる處從ひて之れを知
 悉するには通學の便なるべからず而かも通學の便と時趨
 さを失せかの人如何即ち善良なる講義を掲載せる書籍に
 就いて研究せざるべからず而して其六法を完備して之を仔
 細に講述したるものあるを見ず遺憾に極まり依りて今
 回此便宜を完せんが爲め特に法典研究會に於ける博士學
 士の堪能なる諸氏に執筆を請ひ之を發刊する事は爲せり
 其明論卓絶は發するの要なし唯行文流易論議平暢人々雖
 ども此書を通覽する時は親しく良師に就いて教を乞ふと些
 の等差なきは疑を容れざるふり實に空前の大著絶後の好著
 なり今や法律の必要日に迫り月に進むの時幸に此好同伴を
 待て學ぶ處あれ其法律を必要とする諸官吏各種の實業家及
 び法學研究の學生諸君を問はず陸續購求の榮を希ふのみ

傳染病研究所長醫學博士北里柴三郎
傳染病研究所部長醫學士柴山五郎作

結核豫防書

全一冊

覆版洋裝金文字入船來上等
價一圓八十錢 郵稅十錢

晚近三十有餘年間我邦醫學の進歩頗にして古の以て不治の症となせしもの今や容易に根治し得るの時に當り千百の藥材備ふるも全く其用を爲さず幾萬の刀圭も殆ど其豫防法と治療法とに苦しみ研究日も亦足りざりし結核症は突如として北里博士の名の下に其豫防法を公にされたり博士は東西兩洋に錚錚の聲譽あり而かも深奥雄大の學識と經驗とに富み其微菌學に特長なるに普れく人の認むるごころ故に結核豫防法に於ても其説く所平易流暢結核に關する諸種の贅説を排して自己の抱負を繰述すること一も餘蘊なく網羅詳解せられたれば本書の公にさるゝに當りては暗夜に燭火の感を以て世に歡迎せられん事言はざるの優るに如かざるなり實に大著中の大著結核に關する書籍多しと雖ども本書に右出するものなきは是又言ふの必要なしされば世の該病に侵されんとするの人之を庸醫に診ふの煩を省き本書を讀みて其豫防を忽爾にせざれば終に結核をして其根性を絶たしむるを得ん特に寒村僻邑の人は之を座右に備ふれば自家の眞醫に接するが如く病初めれば忽ち治癒し漸く革まるも適宜の療法を講ずれば亦全治するの幸榮を得んか物を醫に探るが如し而して本書は該疾病者間にのみ有益無比の書籍たるのみならず醫家として斯學に志すの人本書に依りて研究するあらば其裨益する處果して多大ならん乞ふ通常廣告大の冗語と同一眼を以て之を看過せず幸に一本を購ひて其眞價を味へ

應 用 問 題 之 神 髓

算 術 捷 徑

正 價 金 十 八 錢 全 郵 稅 金 四 錢

松 本 小 七 郎 著

數 學 篤 志 者 小 學 教 員
各 種 受 驗 者 中 學 第 三 年 以 上 之 學 徒
自 習 者 必 携

先生教授ノ主意ト本書著述ノ主意ノ概要ハ數學ハ凡ヘテ推理ノ學問ナリ故ニ其原理ヲ究メテ之ヲ活用スルニ在リ實ニ數學ヲ學ブモノハ數學其ノモノヲ學ブノミナラス總ヘテ活用ノ力ヲ涵養スルコトニ力メサルヘカラス故ニ徒ラニ敷衍シ問題ノ多キヲ主トセル書ノ如キハ初學者ヲシテ要領ヲ得セシメス五里霧中ニ迷ハシム故ニ小冊子ニシテ算術全體ヲ網羅シ其ノ神髓ヲ解テ活用ノ方法ヲ了解セシムトイフニ在リ實ニ先生カ多年ノ經驗ト奇拔ノ腦力ニ由テ著ハサレタル嶮然タル良書ナルヲ以テ苟クモ數學ニ志スモノハ之レニ依テ研究セハ瞭然算術ノ蘊奧ヲ曉リ得ラル、ナラン

16/12/34

第五條 學費ハ左ノ如シ
 一 束脩 金貳拾圓
 二 入學願書ニ添ヘ納ムベシ
 三 一月謝金 金貳圓
 四 六ヶ月分 金四圓
 五 一年分 金八圓
 六 三ヶ月分 金四圓
 七 半年分 金六圓
 八 一年分 金十二圓
 九 二年分 金二十四圓
 十 三年分 金三十六圓
 十一 四年分 金四十八圓
 十二 五年分 金六十圓
 十三 六年分 金七十二圓
 十四 七年分 金八十四圓
 十五 八年分 金九十六圓
 十六 九年分 金一百零八圓
 十七 十年分 金一百二十圓

第六條 講義録ノ發行日ハ毎月十日廿五日ノ二回トシ毎回箱外生ニ配布ス
 第七條 學期ノ中途ニテ入學スルモノハ第五條ニ照シテ月謝ヲ前納スレバ既刊ノ講義録ヲ取經メ當時ニ配布スベシ
 第八條 束脩及ビ月謝ヲ以テ代用スルモノハ別ニ領收証ヲ發シテ受取人チ「神田表神保町七番地研數學館講義録發行事務所」ト記入スベシ
 第九條 束脩及ビ月謝ハ郵券ニ對シテハ別ニ領收証ヲ發シテ受取人チ「神田表神保町七番地研數學館講義録發行事務所」ト記入スベシ
 第十條 月謝及ビ月謝附金ハ別ニ領收証ヲ發シテ受取人チ「神田表神保町七番地研數學館講義録發行事務所」ト記入スベシ
 第十一條 束脩及ビ月謝附金ハ別ニ領收証ヲ發シテ受取人チ「神田表神保町七番地研數學館講義録發行事務所」ト記入スベシ
 第十二條 通知スルテ此郵便代ハ既收ノ月謝ノ中ヨリ差引クモノトス
 第十三條 發送シ現金ノ返戻チ修ナサズ
 第十四條 本館通信及修業證書及卒業證書ヲ望ムモノハ修業證書ヲ附與ス又卒業證書ノ附與チ望ムモノハ試驗ノ上合格者ニ限リ之ヲ附與ス修業證書及卒業證書ハ修業證書及卒業證書ヲ望ムモノハ手數料金拾圓ヲ納ムベシ
 第十五條 齋藤氏英文辭典及神田氏英文辭典等ニ就テ質問スルモノハ質問紙ニ楷書ニテ正書シ郵券三錢ト共ニ封入シテ送附スベシ解答ハ質問書到着ノ日ヨリ壹週間以内ニ送附スベシ但シ質問紙ノ主意不明若クハ文字讀ミ難キモノ等ハ解答セズ
 第十六條 又質問ニ就テ有益ノモノハ紙數ノ許ス限リ雜報欄内ニテ答フベシ
 第十七條 講義録ニ關スル事件ハ凡ヘテ研數學館講義録發行事務所ヘ申出ヅベシ

研 數 學 館
 主 與 平 浪 太 郎
 館 主
 東京市神田區表神保町七番地
 研數學館講義録發行事務所

發賣所

東京市神保町
神田區

修學堂書店

印刷所

株式會社 葆光社

東京市本郷區湯島一丁目二、三番地

印刷者

松本秋齋

東京市本郷區湯島一丁目二、三番地

發賣者

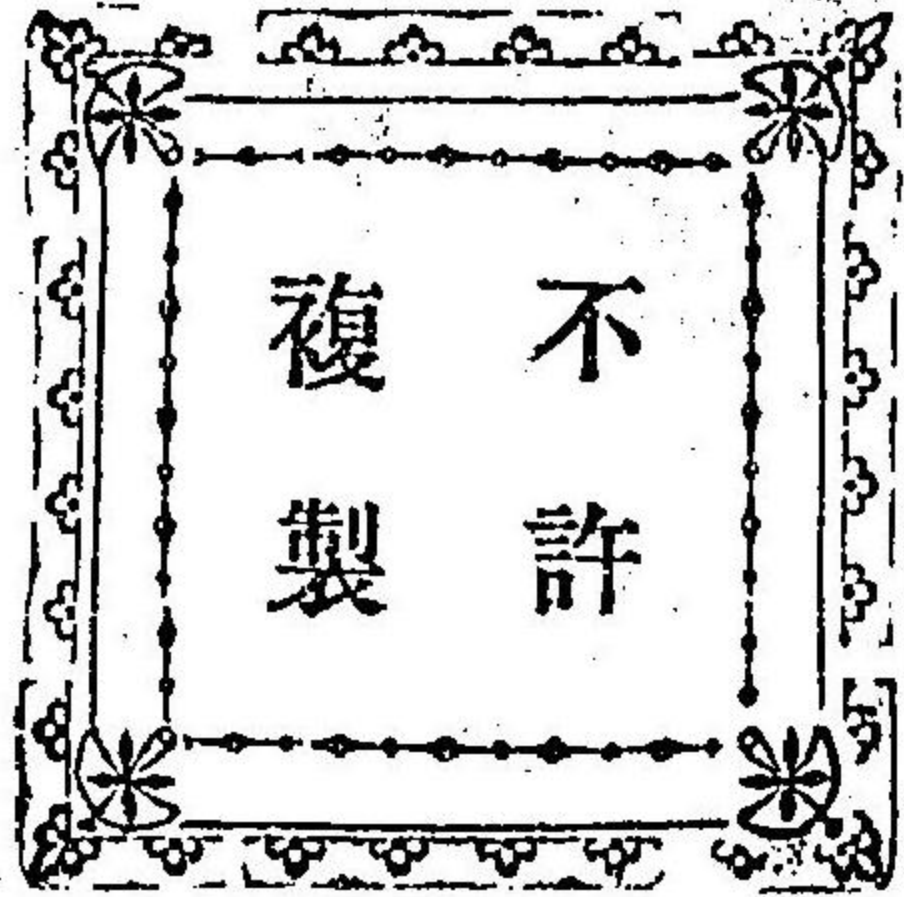
辻本末吉

東京市神田區表神保町七番地

著述者

松本小七郎

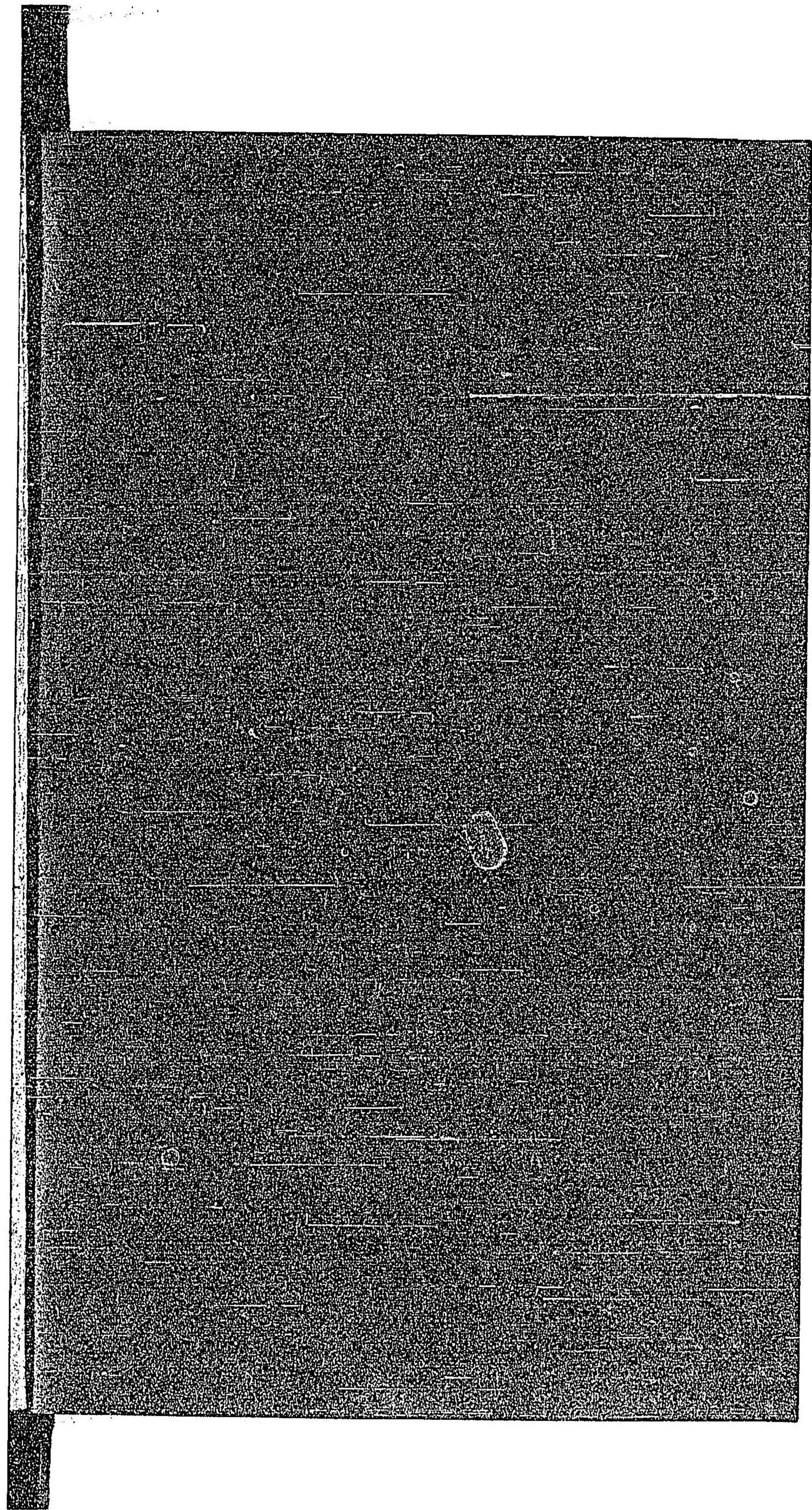
東京市神田區猿樂町十一番地

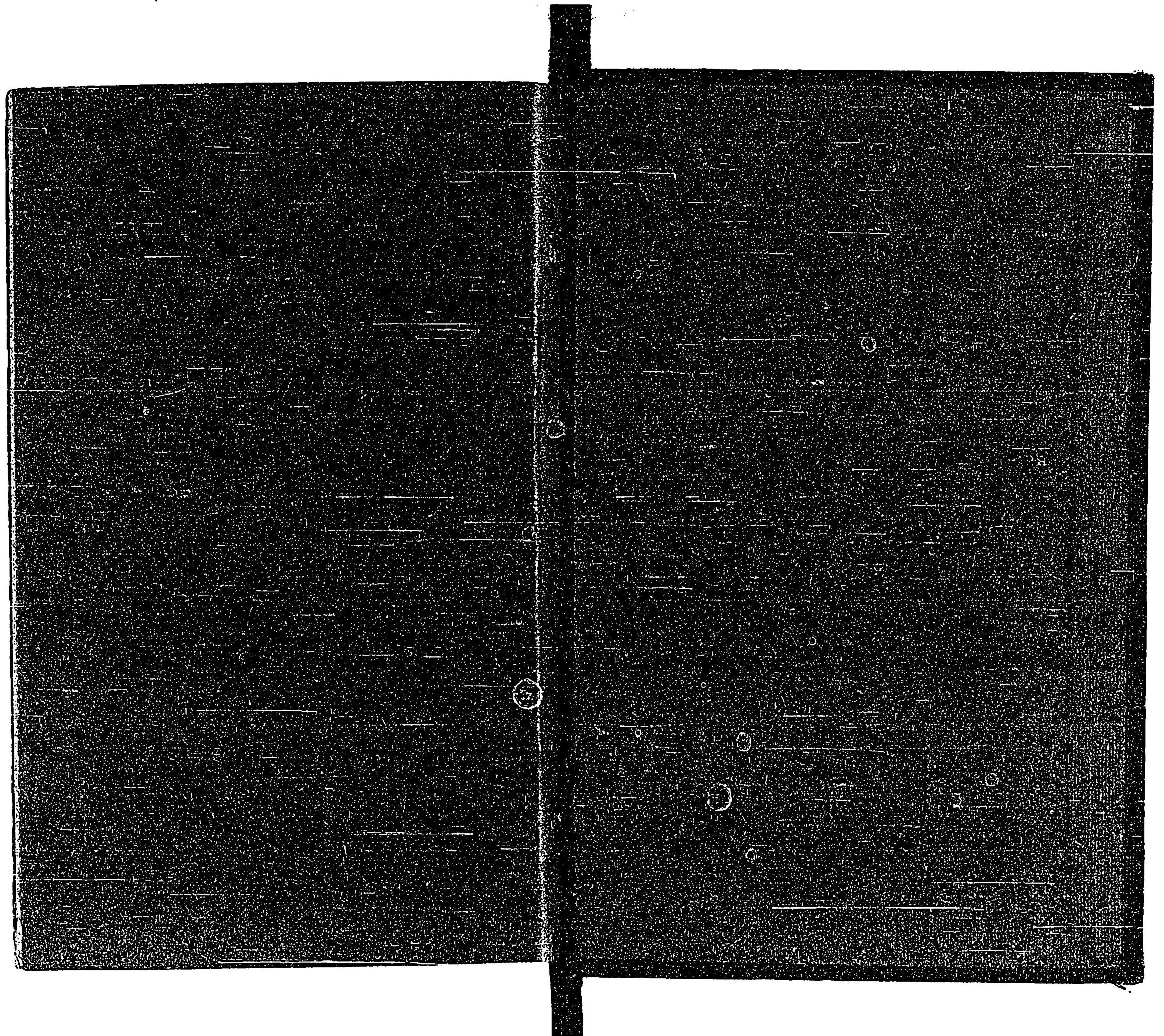


明治卅五年十二月五日發刷
明治卅五年十二月一日印行

代數學講義下奧付

正價金三拾五錢





96
120



120

